

環境のひろば

209号

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 小山 亮

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいに
する運動”を推進するために
配布しております。



新見
支部

森を大切に

新見市環境衛生協議会

私たち新見市環境衛生協議会は、6月29日（水）、総会終了後研修会を開催しました。研修会で講師をお願いしたのは、岡山市東区にご在住の山田勝先生です。

山田先生は、講演の中で、広島県では絶滅したと言われているニホンリスが、新見市内の森で生息している証拠（森のエビフライ＝松ぼっくりの中の種を食べた後の残骸）が見付かったことを教えてくださいました。また岡山県内の各地の森に生息する貴重な動物の数々に

についても教えてくださいました。

そのように貴重な生き物が多く生息している岡山県のすばらしい森ですが、人目につかないことをいいことに、冷蔵庫・洗濯機・テレビなどの大型ゴミが不法投棄されているのを時々見かけます。

岡山県の森林面積の総面積に対する割合は70%近くを占めます。県民みんながもっと森林に目を向け、森林の保全に取り組むようになることを願ってやみません。



支部だより

岡山
支部不法投棄パトロール
“継続は力なり”

瀬戸内市環境衛生協議会



瀬戸内市協議会では、年2回市内の巡回パトロールを実施しています。

市内各所で発生していた不法投棄が、今は規模も小さく通報も格段に減りましたが、安易に不法投棄が減ったと結論付けることはできません。しかし、協議会の活動が不法行為を抑止する一助になっていると思うと、この活動が意義深いものだと感じています。

昨年度の活動内容ですが、秋季に邑久町内、冬季には牛窓・長船町内で不法投棄やポイ捨てが多いエリアを巡回し、看板の設置とごみの回収を行いました。協議会では不法投棄と並行してポイ捨て予防も重点課題と考えて活動しており、放置すればすぐ増えるポイ捨てを

誘発しない環境の維持に尽力しています。

活動で回収されたものの多くは古いものばかりで、新しいものが少なくなっています。このことから確実に市民の意識も変わってきていると感じます。成果の見えにくい地味な活動ではありますが“継続は力なり”です。

東備
支部不法投棄をさせない
まちづくりを目指して

備前市環境衛生指導委員会

備前市では、旧閑谷学校が日本遺産となり、多くの人々が訪れる中、当委員会も、より一層の環境美化に努めております。

その活動の一環として毎年行っている不法投棄ごみの回収と不法投棄を防止する対策を3月に実施しましたが、不法投棄ごみの多くは人目に付きにくい山林や谷などに捨てられており、ごみの多くは、ポイ捨てされた空き缶やペットボトルでした。その中には一人では回収できないような大型の粗大ごみも散見されました。不法投棄は当然ながら捨てる人が悪いのですが、捨てる側

からすると悪いという意識が薄いままに捨ててているのではないかと考えています。特に以前からポイ捨てがされているところでは、そのような意識も薄まってしまうはずです。

そこで目立つように看板等を設置することにより、不法投棄をすることが悪いことであると認識してもらえればと思っています。また、市内で起こっている不法投棄の問題を認識してもらい、不法投棄をさせないまちづくりを目指して今後も環境美化に取り組んでいきたいと思ひます。



倉敷市
支部

全市一斉^{ゼロ}ごみ0キャンペーン

倉敷市環境衛生協議会

倉敷市環境衛生協議会では、昭和57年から毎年9月第1日曜日を「清掃祭日」と設定し、全市一斉で清掃美化活動を行うことで、美しく快適な生活環境づくりを目指しています。

今年は9月4日(日)午前7時から約2時間、「捨てない、捨てさせない、だれも捨てない!」の“3ない運動”をスローガンに、37,053人の参加者が道路沿いなど

にポイ捨てされたペットボトルやたばこの吸い殻などを回収して、指定の集積場所に持ち寄りました。この日集まったごみは行政が収集し、資源化・処分されました。

ポイ捨てごみのないまち倉敷を目指して、今後も継続していきたいと思っています。

平成28年度回収実績

| | |
|--------|---------|
| 空き缶 | 68,298本 |
| 空き瓶 | 13,399本 |
| ペットボトル | 10,761本 |
| 燃やせるごみ | 4,374袋 |



ポイ捨てごみ拾いの様子



たくさん拾い集めました

井笠
支部

町内一斉クリーン作戦

里庄町環境衛生協議会

里庄町環境衛生協議会では、毎年11月の第4日曜日に「町内一斉クリーン作戦」を実施しています。

昨年は約1,800の方が、早朝から地域内の道路・溜池・河川敷などに捨てられたごみを分別しながら拾い、清掃活動に汗を流しました。当日は町内企業の従業員の方々も、周辺地域の方々と一緒に清掃活動に取り組みましたほか、里庄町職員の方々も、山道の清掃を実施されました。この活動によって、可燃1.73トン、不燃0.34トン、粗大0.35トン(すべて推計値)のごみを集めることができました。

町内一斉クリーン作戦は、今年で15年目を迎えます。今や、多くの町民にとって定例行事として定着し、この

日が意識されるようになり、参加することを通して自分の行動を点検するという好循環が生まれているように思われます。今後も地道に継続し自分たちの暮らす町は自分たちできれいにするという気持ちや、ごみの減量やりサイクルに向けた意識が一層高まるよう取り組んでいきたいと考えています。



津山
支部

花コン審査開催

津山市環境衛生推進委員会

津山市環境衛生推進委員会では、毎年花いっぱい運動を主に活動を展開しています。今年で32回目を迎えることになりました。町内会及び各種の団体や小中学校等に声を掛け、市内の道路沿いや道路から見える場所に花壇を設営し、町中を花で飾っています。毎年この運動に参加いただいた団体で出来栄を競う「花いっぱいコンクール」を開催し、優秀な花壇を表彰しています。

今年の花いっぱい運動には129団体の応募があり、そのうちでコンクールに挑戦したのが57団体でした。当委員会役員と事務局職員とで先ず事前調査を実施し、優秀団体候補を選び、7月28日には本審査ということで、美作県民局地域政策部環境課長を審査委員長とし、市副市長、市環境福祉部長、市連合町内会正副会長、当委員会役員とで審査に挑みました。当日は車2台に分乗して真夏の炎天下で厳正な審査を行い、最優秀賞を始め18

の表彰団体を決定しました。表彰式は9月30日に行いました。



循環と共生

ごみのポイ捨て
禁止対策について

奈義町環境衛生協議会

奈義町内では、不法投棄やごみのポイ捨ての防止対策について、地域が一丸となって取り組んでおりますが、なかなか100%無くなってしまわないのが、現状です。

そうした中、我々奈義町環境衛生協議会では、昨年度に環境美化用回収資材作成事業により、ポイ捨て防止の看板を作成し、要望のある地区へ看板を配布し、設置しているところであります。

本町では、ごみゼロ作戦や不法投棄監視員による不法投棄パトロール、定期的なごみ中継受付、毎年粗大ごみ収集の実施、防災行政無線による注意喚起など、ごみ処理に対する運動に一生懸命がんばっております。

今後においても、奈義町環境基本計画に掲げており

ます「自然環境と文化にあふれたクリーンなまち奈義」を目指して、本町の緑豊かな自然環境を守っていきたいと思います。



提言箱

温暖化対策は進んでいるのか 進めているのか

岡山市環境衛生連合協議会 花房 明夫



地球に降り注ぐ太陽の光は、大気を素通りし地面を暖め、放射される熱を温暖化ガスが大気を暖め、地球を温暖化させている。その温暖化が進んで、異常気象となり、我々の生活環境に被害をもたらしている。台風、洪水などの災害が増え、日照りが続くと海面が上昇し、沈む島国の被害が深刻化している。

このままだと地球はどうなる。対策が何もなければ気温も海面も上昇し続けてしまう。岡山市の気温も上昇し、50年前の鹿児島県と同じ位で、桜の開花日も4～6日早くなって来ている。今年度の気象はどうだろう。温暖化対策も必要だが、猛暑による熱中症対策が必要になって来た。日常の気温は体温より高く、地球そのものも狂って来ている。では私たちはどうする。

二酸化炭素排出国1位の中国、2位のアメリカ、3位のインド、4位の日本、2007年の京都議定書に上位3国は不参加だったが、2015年パリ協定では参加し、「世界の平均気温上昇を2度未満に抑える」という目標を挙げ、海面上昇の島国に配慮し、1.5度に抑えることを盛り込んだ。ではどう取り組んで行くのか。各国が二酸化炭素を減らす対策をしなければならぬが、

- 我が国は企業対策に重点を置く
- 我々はマイバック運動やクリーン作戦に取り組む
- 家庭ではごみの削減、資源回収、4R活動に取り組む

“防ごう 地球温暖化を”

環境豆知識

EMの活用について

倉敷市環境衛生協議会

EMは、光合成細菌、乳酸菌、酵母を中心としたさまざまな抗酸化物質を産生する微生物の複合体です。もともとは農業の効果を上げるために開発されましたが、畜産や水質浄化など様々な分野にも利用されています。倉敷市環境衛生協議会では、市内小・中学校のプール清掃にEMを活用することを推進しており、「清掃が楽になった」など皆さんに喜ばれています。

また、EMを主成分とする発酵液「EMW」は、家庭での掃除・消臭全般で使用できます。気になる部分に水でうすめた「EMW」をスプレーでひと吹きするだけで、汚れや臭いを除去する効果があるとのこと。興味のある方はお試ください。

平成28年度 定例総会を開催

平成28年度の定例総会を5月25日に「岡山コンベンションセンター」で開催しました。

平成27年度事業実績・決算、平成28年度事業計画・予算、役員の選任について審議し、承認されました。

来賓として、築島明環境省中国四国地方環境事務所長、足羽憲治副知事、古南篤子環境文化部次長、を迎え、盛大に開催されました。

また、議事に先立ち、環境衛生改善活動に多大の功績があった団体、個人に対し、表彰状及び記念品の贈呈を行いました。

岡山県知事表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- 倉敷市環境衛生協議会玉島地区協議会乙島東支部（倉敷市）
- 東明石環境衛生改善組合（倉敷市）
- 小西環境衛生改善組合（倉敷市）

◆環境衛生改善事業功労・個人

栢野登志雄（岡山市） 甲 潤一（岡山市） 長尾 秀（倉敷市） 大住 敬造（倉敷市） 生田 雅彦（倉敷市）
田中 公雄（倉敷市） 守屋 新一（倉敷市） 山本 光夫（倉敷市） 澤山 祥子（真庭市）

◆清掃事業功労

八田 高志（岡山市） 人見 孝治（岡山市） 国安 良充（赤磐市） 山上 弘（倉敷市） 坪井 泉（倉敷市）

岡山県環境文化部長表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- 下日近自治会（岡山市）
- 福江環境衛生改善組合（倉敷市）
- 帆干谷環境衛生改善組合（倉敷市）
- 出雲街道新庄宿町づくりの会（新庄村）

◆環境衛生改善事業功労・個人

石井 正芳（備前市） 中山 良一（岡山市） 小坂 猛（岡山市） 内田 治雄（岡山市） 大西 民子（倉敷市）
臼井 晃（倉敷市） 兼信 功（倉敷市） 塩田 文子（倉敷市） 須本小枝子（倉敷市） 大橋シゲ子（倉敷市）
遠山 正人（浅口市） 木村 順一（真庭市） 竹島 勝義（美咲町） 延原 昭（美咲町）

◆清掃事業功労

秋山 務（岡山市） 中本 勝（岡山市） 伊加 稔（岡山市） 小山田勇一（岡山市） 秋久 浩一（和気町）
平井 昇（備前市） 藤原 睦（和気町） 森岡 輝行（倉敷市） 西井 一（笠岡市） 近藤 一男（倉敷市）
黒瀬 満治（倉敷市） 川原 治行（高梁市） 土山 耕作（美咲町） 平原 幸志（岡山市）

岡山県環境衛生協会長表彰（支部名）

◆環境衛生改善優良地区

- 有限会社ナオイ住宅建設（岡山市）
- 古新田東町内会（岡山市）
- 大室環境衛生改善組合（倉敷市）
- 音藤・小谷ヶ市環境衛生組合（高梁）
- 真星町内会（岡山市）
- 和気町環境衛生指導員協議会（東備）
- 上鳥向環境衛生改善組合（倉敷市）
- 大野地区地域づくり協議会（津山）

◆環境衛生改善地区育成功労

中島 芳夫（岡山市） 吉田 正美（岡山市） 田中 重孝（岡山市） 松井 義孝（岡山市） 中吉 邦夫（岡山）
藤原 信利（東備） 池原 憲治（倉敷市） 山本 秀樹（倉敷市） 原 マス子（倉敷市） 小野 眞毅（倉敷市）
笠原 和彦（井笠） 小川 友治（新見） 木村 順一（真庭） 赤堀 康弘（津山） 山口 孝（津山）
井上 始（津山） 大下 剛（津山） 石田 裕治（津山） 池上 房子（津山） 杉本 正博（津山）

◆清掃業務従事功労

木村 実（岡山） 吉田 茂人（東備） 藤原 裕一（東備） 高平 雅文（倉敷市） 柏野 静雄（倉敷市）
坂部 直彦（井笠） 山根 彰（高梁） 岩田 茂行（高梁） 宮元 良（勝英） 谷 英樹（勝英）

（以上、敬称略）

■ 専門委員会の活動報告

第1回リサイクル推進委員会 平成28年8月25日(木) 13:00～14:30

リサイクル推進委員

委員長 小椋 邦子 副委員長 今中 慶一

委員 森安 創 久山 雅生 守長 君子 野田 健一 平川二美子

リサイクル推進委員会では、マイバッグの普及啓発について議論しました。今年度は、リサイクル推進委員以外の理事の方にも、配布活動を行っていただくこととしました。

第1回環境保全委員会 平成28年8月30日(火) 13:00～14:30

環境保全委員

委員長 岡本 正夫 副委員長 二宮万太郎

委員 更谷 暢久 出口 祥三 石井 悦子 手塚 幸恵 杉 秀樹
木村 順一

環境保全委員会では、今年の役員研修会の開催内容について議論しました。今年は県内の先進地視察を行うことになりました。多くの県協会理事にご参加いただき、有意義な研修にしたいと思います。

■ 新規賛助会員のご紹介

新たにご入会いただいた賛助会員は次のとおりです。

株式会社 フルベジファクトリー 様 (鏡野町)

誠にありがとうございます。

末永くご支援賜りますようお願いいたします。

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。

地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ推進運動等へのご支援をお願いします。

101万2千円で、10から入会できます。

賛助会員の皆様からの記事を募集します

日頃から取り組まれている環境保全、環境美化に関する活動について、賛助会員の皆様からの記事の投稿をお待ちしています。

字数：約400字

(写真、図等をあわせて提供ください。)

例：事業所付近の清掃活動、環境に配慮した事業・製品、一般の見学者の受け入れ等

違法な不用品回収業者を利用しないで



岡山県環境文化部 循環型社会推進課

不用品回収業者の中には、市町村の許可を得ずに営業する違法な業者がいます。違法な業者により回収された廃家電製品などが不法投棄されたり、不適切な解体によりフロンガスの放出や有害物質の流出など環境を汚染することがあります。

また、集められた廃家電などは海外へ輸出され、輸出先で不適切に処理されることもあり、国外の環境まで汚染してしまう可能性があります。

家庭ごみは、市町村のごみの出し方のルールに従って適切に処理し、環境の保全、資源の有効活用につなげましょう。



©岡山県「ももっち」



編集後記

地球にやさしい環境を守ることは、すべての住民の願いです。私たちが自然と調和のとれた豊かな環境で暮らしていくために大切なことは、企業・行政・住民の三者が危機意識を共有し、それぞれの場で主体的に取り組むことです。ノーマイカー運動・緑のカーテン・節電節水・自然エネルギーの導入等の取り組みです。

笠岡市は、カブトガニ繁殖地が国の天然記念物に指定されています。数年前はカブトガニを海で見ることが

ありませんでした。しかし、最近では海岸清掃・潮干狩りの禁止、公共下水道整備等の取り組みにより、海がきれいになり、カブトガニの自然産卵場所が複数見つかかり、カブトガニは年々増えています。

このような自然環境を守るため、私たちは、支部だよりや提言箱等にあるような、自分にできることを自分から取り組んでいくことが大切なのではないかと思えます。

広報委員 高木 早苗



広報委員

委員長 室田 勉 副委員長 山本 光教
委員 福井 孝子 横田 徹 五島 榮二 高木 早苗 澤山 祥子

地域環境の保全・創造に

貢献する地域で

最も必要とされる組織へ



公益財団法人

岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL (086) 298-2122 (代)
FAX (086) 298-2496

厚生労働大臣登録水質検査機関
厚生労働大臣登録食品検査機関
厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関
岡山県知事指定浄化槽検査機関

公益財団法人
岡山県健康づくり財団

〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
TEL (086) 246-6257 (代)
FAX (086) 246-6258
北部オフィス 〒707-0004 美作市入田 291-2
TEL (0868) 75-3151
FAX (0868) 75-3153

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人

岡山県浄化槽団体協議会

会 長 八 田 富 夫
副 会 長 武 村 良 夫
常 務 理 事 木 村 俊 介

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
電 話 086-276-8585
FAX 086-276-9081